

一般質問



久 枝
議 員

一、運動公園全面改良事業進捗状況について
二、松浦電源開発（Jパワー）にも発電所増設要請について

質問

一、(1)今年度から基本設計に入る予定の運動公園の基本構想、基本計画、実施設計の進捗状況はどうか。
(2)関係協会代表者との意見交換や委員会設置は怎么样了。
(3)駐車可能台数は幾らか。
(4)教育長の構想を伺いたい。
(5)トラックの長さは幾らか。
(6)今福工業団地に軟式野球場を兼ねた地域運動場を整備することとこの運動公園内の軟式野球場利用等多目的スポーツ場を建設することは別であると認識してよいか。
(7)24年度から設計の段階に入ると言っただけの考えは、後退したというのか。
(8)25年度当初予算で事業費を措置して頂きたい。

二、報道によれば、経済産業省は電力の卸売規制を撤廃の方向で検討に入ったという。卸売電力の供給ルートを拡げ競争を活発化し、電気料金引き下げにつなげる考えである。九電松浦発電所2号機の建設再開は本市の重要課題だが、この件が落着後には松浦電源開発に対して増設促進を要請するべきと思うがどうか。
その他にイノシシ焼却炉建設等について質問しました。

答弁

一、(1)これまでの協議経過を踏まえながら、早いうちに関係団体と協議、調整を行った上で計画を再度検討したい。
(2)昨年11月に利用団体との協議を行ったのみで、今後早急に協議の場を設けたい。
(3)整備計画が未だ固まっていなくて今後の検討課題です。
(4)グラウンドを少し拡張するなど、多目的に使える施設として、市民の声も入れながら進めていきたい。
(5)一面で400メートルの陸上競技場を整備したい。
(6)運動公園は陸上競技場を中心として整備を進めるものです。
(7)協議経過を踏まえて、できるだけ早い時期に具体的な年度等を示したい。
(8)事業の規模、用地の問題等検討すべきことがあり、今の段階でお示しすることはできません。

二、安定した電力の供給、運転コストの面から石炭火力発電の重要性が再認識されています。まずは九電2号機の建設再開を重点課題として取り組んでまいりたい。電源開発松浦発電所の増設については、国のエネルギー政策等を見極めながら可能性を検討したい。

一般質問



武 辺
議 員

一、学校給食の現状と課題について
二、星鹿小学校耐震化工事に伴う諸問題について

質問

一、(1)地場産物活用推進の観点からどの程度具体的な取り組みをされているのかその例をお示しください。
(2)給食費については、昨年3月の議会旧松浦市内では口座振替と集金袋といった選択制も協議していると答弁がありました。その協議は今どうなっていますか。
(3)23年度の滞納額とその比率をお示しください。
(4)給食費は、原則として受益者負担であることから、保護者負担の公平性確保、学校事務負担軽減、滞納対策等を踏まえて、公会計方式の導入について、デメリットの部分もあるかと思いますが、どう考えますか。

二、(1)校舎使用中止から解体に至った経緯を説明してください。
(2)校舎改築の着工時期と完成予定はいつごろですか。
(3)新校舎建設の検討委員会の立ち上げはどのように考えていますか。また、その時期をお知らせください。
(4)今まで情報が多岐にわたっていただいていたのではないかと、今後どのように進めていけるのか、教育長の考えをお聞かせください。

答弁

一、(1)地元産のものをできるだけ使用することに努めており、生徒や保護者の方に知って頂くために毎月の献立表に地元産食材を表示しています。食材に占める地元産の割合は、野菜で39%、米飯給食の米はすべて松浦産ヒノヒカリを使用しており、全体で53%です。
(2)23年度の口座振替と現金の収納率を比較するとさほど変わらない状況です。19校のうち12校が完納となっています。
(3)滞納額が8万2千250円、収納率は99.15%となっています。
(4)今の段階で移行は考えていません。

二、(1)耐震工事を計画しましたが、強度の保持ができないということから普通校舎の全面改修となりました。
(2)25年度の早い時期に着工して、同年度末には新校舎に移転できるような工程で取り組みたい。
(3)建設のあり方については、地域住民や保護者の皆様のご意見を聞いて、11月頃までには設計に反映させたい。
(4)学校、保護者、教育委員会が一体となって話し合い、より良いものが建設できるよう努力したい。